資料３

# 本委員会の背景、目的及びスケジュール

2022年5月30日

東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課

# 人生100年時代社会参加施策検討委員会　背景・目的

## 背景・課題

**○人生100年時代において、希望に応じた仕事や学び、趣味、地域活動ができるようプレシニア・シニアを支援**
（「未来の東京」戦略４「長寿（Chôju）社会実現戦略」＞「３．シニアライフを輝かせるプロジェクト」）

**【背景】**

○東京はすでに超高齢社会に突入。**高齢期は従来の「余生」ではなく、「第二の人生の到来」又は「現役期間の延長」**へと変化

○高齢期の**様々な生活の態様や、加齢に伴う変化に対応して**いけるよう、**プレシニア期から生涯を通じた、その人に合ったライフキャリア（経験を踏まえた人生設計・生き方）の支援**が必要
・理想の就業年齢（高齢者アンケート結果）
「～60歳頃（2.0%）」「～65歳頃（11.5%）」「～70歳頃（33.4%）」
「～75歳頃（24.6%）」「80歳～（10.2%）」

**【課題】**

○高齢者の社会参加の**意欲が実際の活動に結びついていない**
・定年退職後の地域活動等への参加希望は約8割（アンケート結果）
・現在の高齢者の社会参加は約5割（高齢者アンケート結果）
・社会参加しない理由（高齢者アンケート結果）
「きっかけがないから（20.9%）」「興味のある活動内容がないから（15.5%）」「仲間がいないから、一人で参加することに抵抗があるから（14.2%）」「活動の情報がないから（10.5%）」

○地域活動の**担い手が、高齢化・不足**している
・高齢者の社会参加促進の課題（区市町村アンケート結果）
「老人クラブ会員、ボランティア等の担い手の高齢化・不足」
「高齢者が地域活動に参加するきっかけづくり」
「ボランティアとボランティア受入れ施設とのマッチング」

→ ○高齢期以降の社会参加を継続的にサポートしていくため、就労、キャリアやスキルを活かしたプチ就労や有償・無償ボランティア、その他社会貢献、自己啓発・趣味活動、仲間との交流等まで、**社会参加に関する効果的な事業実施（きっかけづくり、マッチング等）のあり方の検討を行い、社会参加マッチング施策案を策定する。**

## 事業概要

**【内容】** **（プレ）シニアの社会参加継続支援等のため**、検討会を設置し、**効果的な事業実施（きっかけづくり、マッチング等）のあり方の検討**を行い、社会参加マッチング施策を策定する。

**【対象】** ・**（プレ）シニアの**、就労・プチ就労、有償・無償ボランティア、その他社会貢献、自己啓発・趣味活動、仲間との交流等の**社会参加**
・**（プレ）シニアを受け入れたい企業、団体等**

**【検討内容】**
・社会参加促進の**対象**とすべき（プレ）シニア、社会参加につなげるための**対策**
・（プレ）シニアと多様な社会参加の場を繋ぐ**マッチング施策のあり方**

**【検討手法】**
・庁内検討の他、検討会を設置し、外部有識者から意見聴取を行う。

# 人生100年時代社会参加施策検討委員会　スケジュール

○ 本日の第１回、６月末に予定している第２回、７月末に予定している第３回を経て、中間報告を公表

○ その後、第４回（必要に応じて第５回）において施策の詳細や令和５年度以降の予定等を討議し、最終報告を公表

| 令和４年度 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 【５月30日】 | 【６月末】 | 【７月末】 | | 【９月～１２月】 | |
| | 第１回 | 第２回 | 第３回 | | 第４回（、第５回） | |
| 施策検討委員会 | 【主な議題】<br>○経緯と目的<br>○現状と課題<br>○好事例<br>等 | 【主な議題】<br>○施策の方向性<br>○東京都・区市町村の役割分担<br>○区市町村補助要件<br>等 | 【主な議題】<br>○ 中間報告（案）<br>○ 高齢者に対する意向調査（案）<br>等 | **中間報告** | 【主な議題】<br>○高齢者に対する施策案についての意向調査結果<br>○マッチング施策の詳細<br>○令和５年度以降の予定<br>等 | **最終報告** |
| 施策検討関連事務 | | | | | 高齢者に対する施策案についての意向調査<br>令和５年度予算調整<br>区市町村補助事業 | |

# 人生100年時代社会参加マッチング事業

**【背景及び課題】**

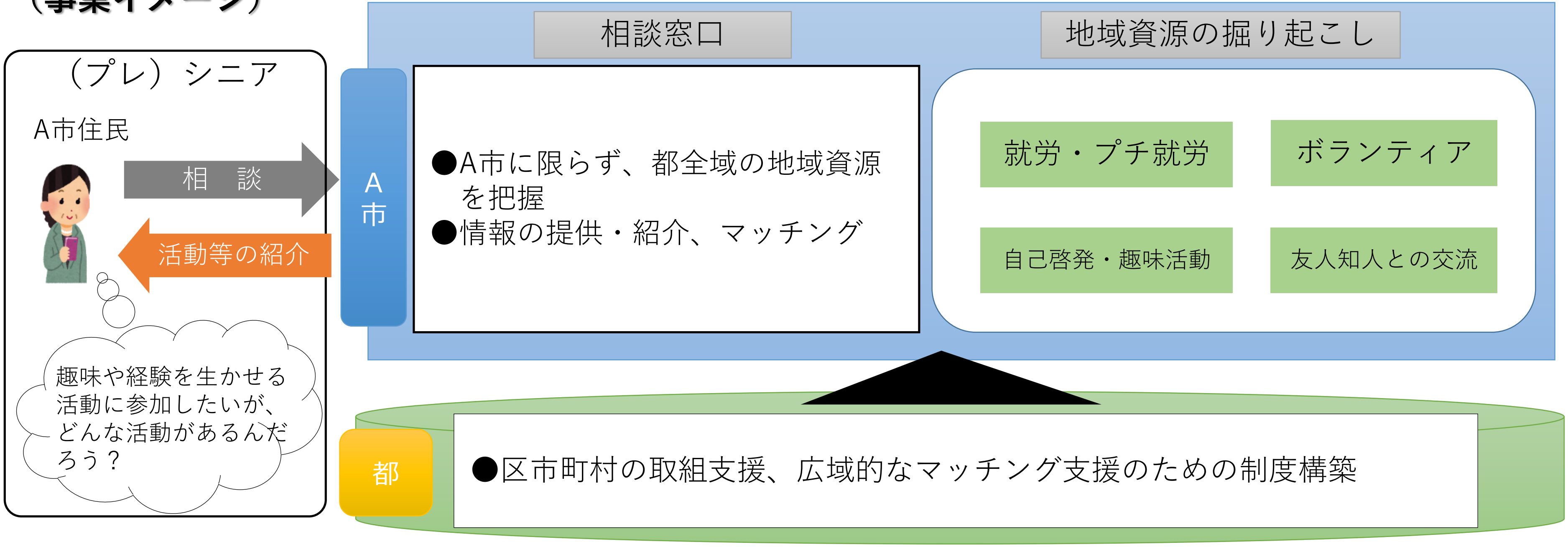
**■高齢者の社会参加の意欲が実際の活動に結びついていない**

・地域活動等への参加希望は約８割(※１)　⇔　現在の高齢者の社会参加は約５割（※２）

・社会参加しない理由(※３)　「きっかけがない」(20.9%)、「興味のある活動内容がない」(15.5%)、「仲間がいない」(14.2%)、「活動の情報がない」（10.5%）

※１：令和２年度インターネット福祉保健モニター「高齢期における地域活動等の意向」について　※２、３：令和元年度在宅高齢者の生活実態調査報告書

## 事業内容

**シニア・プレシニアの継続的な社会参加を促進するため、委員会を設置し、効果的なきっかけづくり・マッチング等に向けた施策を立案するとともに、区市町村の取組を支援する。**

**（事業イメージ）**